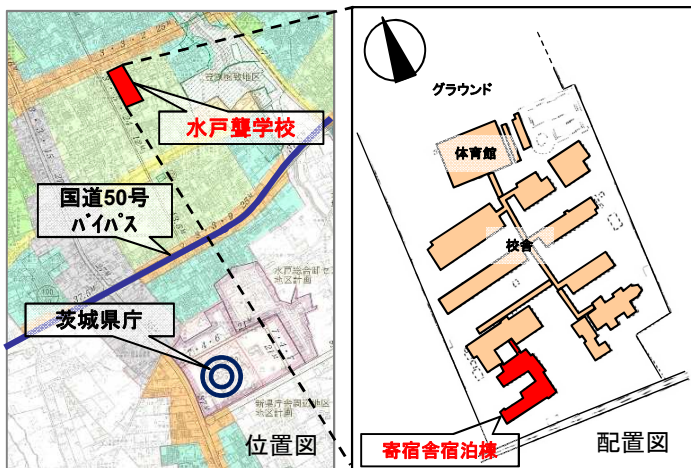


# 県産木材の活用でライフサイクルコストを抑制

## —水戸聾学校寄宿舎宿泊棟改築工事—

### 事業の目的・概要

既存の寄宿舎宿泊棟の竣工から約45年が経過し、建物の老朽化が著しいため、生活環境等の改善を目的として改築を行いました。本事業は、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」や「茨城県県産木材利用促進条例」などに基づき、構造材(柱・梁など)や内装に木材を積極的に活用したものです。木材ならではの心地良い空間のほか、ライフサイクルコストに配慮した環境にやさしい施設整備を図りました。



南東側外観

所在地:水戸市千波町地内  
 整備期間:平成30年3月～平成30年11月  
 構造:木造  
 階数:2階建  
 延べ面積:885.06㎡

本施設は、建物の整形化や柱のスパンを最小限とし、特殊加工の材料を使用せず、一般流通材を使用する計画とすることで、木造化を実現しました。



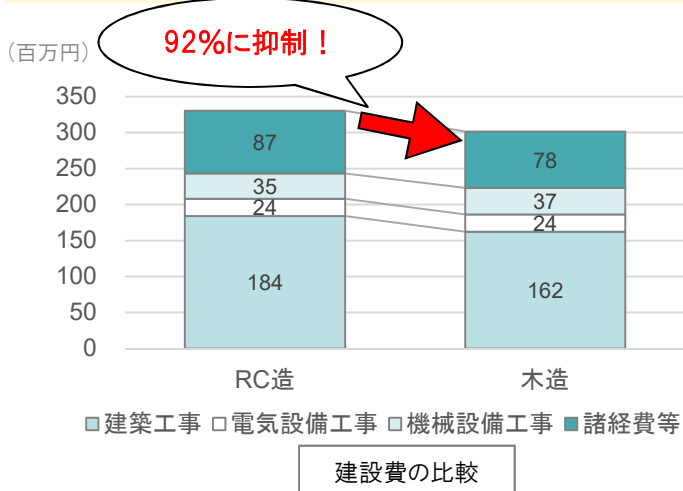
内部階段室廻り

木材使用数量	うち県産木材	使用比率	使用材種	備考
145.04㎡	134.29㎡	92.6%	杉、檜	構造材は100% 県産木材

### 木造化によるライフサイクルコストの抑制

#### イニシャルコストの抑制

木造とすることで、杭工事等の関連工事費を削減。また、工期短縮により諸経費等を削減。同規模のRC造との比較で、**92%程度に抑制**。



#### ランニングコストの抑制

木造とすることで、躯体の修繕費を縮減。同規模のRC造との比較で、**76%程度に抑制**。  
 ※メーカー保証等による修繕周期を参考に試算。

